

医学教育分野別評価 慶應義塾大学医学部 年次報告書 2026 年度

医学教育分野別評価の受審 2024（令和 6）年度

受審時の医学教育分野別評価基準日本版 Ver.2.36

本年次報告書における医学教育分野別評価基準日本版 Ver.2.36

※本年次報告書においては、評価基準の転記を省略している。

本年次報告書における教育活動等の対象期間 2024 年 10 月 12 日～2026 年 3 月 31 日

はじめに

本学医学部医学科は、2024 年に日本医学教育評価機構による医学教育分野別評価を受審し、2025 年 10 月 1 日より 7 年間の認定期間が開始した。2025 年度は特に 2026 年度から開始する新カリキュラムの編成に注力した。カリキュラム編成に先立って、広い教育の関係者が参加する形で教育目標、卒業時コンピテンスの見直し作業をおこなった。新カリキュラムでは、基礎医学と臨床医学の講義において、水平統合、垂直統合が行われるとともに、臨床実習において、主要な診療科で 3 週間の連続した実習がおこなわれるようになっている。また、早期体験プログラムも 2 年生に配置し、臨床実習においては、1 学期終了ごとに 1 週間の評価期間を設けて、形成的な評価が行えるようになる。国際医療人の育成においては、5 年生の海外での臨床実習派遣者を 64 名まで増員した。カリキュラム評価委員会の委員の見直しをおこない、広い教育の関係者が参加する形とした。

1. 使命と学修成果

2025 年度は、学生や学外関係者を含めた広い教育の関係者が参加する形で使命、教育目標、医学部の 3 つの方針、教員組織の編成方針、卒業時コンピテンスを改訂した。

1.1 使命

基本的水準:適合

特記すべき良い点（特色）/特色ある点

- ・「使命」、「教育目標」、「3 つのポリシー」は 2021 年に改定された。
- ・使命として「独立自尊と実学（サイエンス）の精神に基づき、患者中心の医療を実践し、世界の医学を先導する」と定めている。

改善のための助言

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・2025 年度は、新カリキュラムの編成をおこなうに先立ち、学生や学外関係者を含めた広い教育の関係者が参加する形で使命、教育目標、医学部の 3 つの方針、教員組織の編成方針、卒業時コンピテンスについて、修正 Delphi 法を用いて改訂をおこなった。

教育活動等の状況がわかる資料

【資料 1-1】 ミッション・アウトカム検討委員会内規

【資料 1-2】 ミッション・アウトカム検討委員会委員名簿（2025 年 4 月～）

【資料 1-3】 第 1 回ミッション・アウトカム検討委員会_20250424

【資料 1-4】 第 2 回ミッション・アウトカム検討委員会_20250521

【資料 1-5】 医学部の 3 つの方針および教員組織の編制方針 改定案 (20250728 教授会)

質的向上のための水準:適合

特記すべき良い点 (特色) / 特色ある点

- ・使命に、「実学 (サイエンス)」と「世界の医学」を明示している。

改善のための示唆

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 2025 年に開催したミッションアウトカム委員会で、使命、教育目標に対して改訂作業をおこなったが、変更を求める意見はなかった。綿貫 民輔

教育活動等の状況がわかる資料

なし

1.2 大学の自律性および教育・研究の自由

基本的水準:適合

特記すべき良い点 (特色) / 特色ある点

- ・ 医学部長の付託を受け、医学教育統轄センターが自律性を持って教育施策を構築し、実施している。

改善のための助言

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 2025 年に開催したカリキュラム改革ワーキンググループ委員会で、現存のカリキュラムの内容について議論が行われ、新カリキュラムを策定した。

教育活動等の状況がわかる資料

カリキュラム改革ワーキンググループの議事録を添付して下さい

【資料 1-6】 240313 カリキュラム改革ワーキンググループ委員会記録

【資料 1-7】 240501 カリキュラム改革ワーキンググループ委員会記録

【資料 1-8】 240710 カリキュラム改革ワーキンググループ委員会記録

【資料 1-9】 241002 カリキュラム改革ワーキンググループ委員会記録

【資料 1-10】 250328 カリキュラム改革ワーキンググループ委員会記録

質的向上のための水準:適合

特記すべき良い点 (特色) / 特色ある点

なし

改善のための示唆

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

・カリキュラム改革ワーキンググループにより、カリキュラムの過剰を押さえるべく、基礎医学科目の授業数の削減、基礎・臨床科目の統合などを実施した。また、時代の要請に合わせ「情報科学」を必修科目として 2026 年度より導入することとした。

教育活動等の状況がわかる資料

カリキュラム改革ワーキンググループの議事資料は上記の通り。

1.3 学修成果

基本的水準:適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

- ・2021 年に「卒業時コンピテンス」を改定し、それに対応して評価のマイルストーンを作成し、自己評価などに用いている。
- ・学生が学生同士、教員、医療従事者、患者、およびその家族を尊重した適切な行動を取ることを学則・行動規範等に記載している。

改善のための助言

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・2025 年度は、新カリキュラムの編成をおこなうに先立ち、学生や学外関係者を含めた広い教育の関係者が参加する形で使命、教育目標、医学部の 3 つの方針、教員組織の編成方針、卒業時コンピテンスについて検討するミッションアウトカム委員会を開催し、修正 Delphi 法を用いて改訂をおこなった。2026 年度初めに 1-4 年生には新カリキュラムのガイダンスを行う予定である。

教育活動等の状況がわかる資料

ミッション・アウトカム検討委員会の議事録は上記の通り

質的向上のための水準:適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

- ・「卒業時コンピテンス」と「臨床研修修了コンピテンシー」が関連づけられ、卒前・卒後医学教育のシームレスな接続を可能としている。

改善のための示唆

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

特になし

教育活動等の状況がわかる資料

1.4 使命と成果策定への参画

基本的水準:適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

- ・「使命」や「卒業時コンピテンス」などの改定の際に、教育に関わる主要な構成者（教員、学生、卒業生など）が参画した。

改善のための助言

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

・2025年度は、新カリキュラムの編成をおこなうに先立ち、学生や学外関係者を含めた広い教育の関係者が参加する形で、使命、教育目標、医学部の3つの方針、教員組織の編成方針、卒業時コンピテンスについて検討するミッションアウトカム委員会を開催し、修正 Delphi 法を用いて改訂をおこなった。また、教員、学生に広くパブリックコメントを求めた。

教育活動等の状況がわかる資料

【資料 1-2】 ミッション・アウトカム検討委員会委員名簿（2025 年 4 月～）

質的向上のための水準:適合

特記すべき良い点（特色）/特色ある点

・「使命」や「卒業時コンピテンス」などの改訂の際に、教育に関わる広い範囲の教育の関係者（看護師、医師会役員など）が参画した。

改善のための示唆

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

・医学部長、病理学/解剖学教授、学習指導主任（日吉）、教育委員会委員長、カリキュラム委員長、学生課職員、学生カリキュラム委員、東京都内の関連病院病院長、看護師、薬剤師、患者団体（COML）、足利赤十字病院医師などが参加した。

教育活動等の状況がわかる資料

【資料 1-2】 ミッション・アウトカム検討委員会委員名簿（2025 年 4 月～）

2. 教育プログラム

2.1 教育プログラムの構成

基本的水準:部分的適合

特記すべき良い点（特色）/特色ある点

・6年間をとおしてメディカル・プロフェッショナルリズムのカリキュラムが設置されている。

改善のための助言

・PBL や TBL など能動的な学修方法を導入し、学生の学修意欲を刺激するカリキュラムを充実させるべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

・2026 年度から始まる新カリキュラムを策定し、学則の変更を行った。新カリキュラムでは、3 年生で基礎医学と臨床医学の講義において、水平統合、垂直統合が行われる。臨床実習の後半では、主要な診療科で3週間の連続した実習がおこなわれる。また、これま

で1年生と3年生に行ってきた早期体験プログラムを2年生にも追加し、臨床実習前に3年連続で実習できるよう組んだ。

- ・能動的な学習方法の導入はFDや医学教育実践者コースを通じて促している。

教育活動等の状況がわかる資料

【資料 2-1】 9-01-02_【26 学則】 学部学則

質的向上のための水準:適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

- ・メディカル・プロフェッショナリズム授業などで、生涯学習につながるカリキュラムが設定されている。
- ・医学概論で医師としてのキャリアパスを考える機会を提供している。
- ・第1学年から第3学年まで充実した英語教育が行われている。

改善のための示唆

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・メディカル・プロフェッショナリズムIVでは、プロフェッショナルアイデンティティ形成を臨床実習前に振り返り、臨床実習への動機づけを高める工夫をしている。新カリキュラムでは、臨床実習では1学期終了ごとに1週間の評価期間を設けて、手技やカルテ記載などについて、形成的な評価を行う予定である。

教育活動等の状況がわかる資料

【資料 2-2】 春田淳志_プロフェッショナルアイデンティティ形成における枠組みの影響_作成の記述はどう変わるのか?_第57回日本医学教育学会大会_秋田

【資料 2-3】 Junji Haruta_Navigating Identity Challenges_Professional Identity Formation of Japanese Pre-Clinical Medical Students Post-High School

2.2 科学的方法

基本的水準:部分的適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

- ・第3学年の「自主学習」で3か月間にわたって学生が研究室に配属され、最先端の研究に参加して、医学研究の手法を修得できるようにしている。

改善のための助言

- ・臨床実習の現場において実践的なEBM教育をおこなうべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・新カリキュラムでは、臨床実習の学期終了ごとの1週間の間に、EBMを学ぶ授業を展開する予定である。

教育活動等の状況がわかる資料

なし

質的向上のための水準:適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

- ・基礎分子細胞生物学 MCB の授業で、学内外の先端的研究に触れる機会を提供している。
- ・「自主学習」で先端的な研究に参加していることは評価できる。

改善のための示唆

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

特になし

教育活動等の状況がわかる資料

なし

2.3 基礎医学

基本的水準:適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

- ・解剖学実習を 1 年次の学年末に実施し、2 年次のカリキュラムに余裕を持たせている。

改善のための助言

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・新カリキュラムでは、1 年次の学年末の解剖実習で春休みが短くなったため、2 年次に解剖実習を移動する。新カリキュラムでは、基礎医学の授業時間数を減らし、基礎医学と臨床医学の講義において、水平統合、垂直統合が行う。

教育活動等の状況がわかる資料

カリキュラム改革ワーキンググループの議事資料は上記の通り。

質的向上のための水準:適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

なし

改善のための示唆

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・免疫学の実習では、情報解析実験に必要な最低限の知識・基本的な解析技術を用いて、シーケンスデータの基本構造、FASTQ・Bam などのファイル形式を理解したり、遺伝子発現のプロファイルから免疫組織の多様性を理解する情報学実習を行っている。

教育活動等の状況がわかる資料

【資料 2-4】2025 年度第 3 学年 (108 回生) 免疫学シラバス

2.4 行動科学と社会医学、医療倫理学と医療法学

基本的水準:部分的適合

特記すべき良い点 (特色) / 特色ある点

なし

改善のための助言

- ・行動科学の教育をより系統的に構築し、学生が全体像を把握できるようにすべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・行動科学を社会医学も含めた概念として捉え、1 年生では医療人類学や心理学、3 年生では精神科医・人類学者・総合診療医とともにケースを使って行動科学の知識を自分や他者に適応し、多様な考え方を理解する。新カリキュラムでは、臨床実習に予防医学の実習を入れ、予防医療センターにおける個別の予防的アプローチ、集団に対するデジタル技術を活用した予防医療技術について学ぶ。臨床実習後半に位置づけられる総合診療科の 3 週間の実習では、臨床現場の地域診断とそれにつながるアクションプラン構築について AI を活用しながら考え、地域に根差した健康の社会的決定要因やアドボカシーについて理解を深め、社会的文脈や様々な社会との比較の中で病いと健康を理解する。新カリキュラムでは、低学年から臨床実習まで体系的なカリキュラムとなる。

教育活動等の状況がわかる資料

【資料 2-1】9-01-02_【26 学則】学部学則

【資料 2-5】新カリキュラムの全体像

質的向上のための水準:適合

特記すべき良い点 (特色) / 特色ある点

- ・社会の高齢化への対応として、地域包括ケアシステムを理解するための実習として「EEPII (Early Exposure Program II)」を新たに実施している。
- ・将来必要になると予測されることとして、希望者に対して AI 医療入門、AI 医学などの教育を実施している。

改善のための示唆

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・高齢社会を迎える本邦において高齢者を理解する早期臨床体験実習Ⅰに加え、臨床場面での医療の高度化・技術的応用を理解する早期臨床体験実習Ⅱを新たに実施する。
- ・2026 年度より情報科学を 1 年生に導入し、AI の医療活用などの教育を実施する。

教育活動等の状況がわかる資料

なし

2.5 臨床医学と技能

基本的水準:部分的適合

特記すべき良い点 (特色) / 特色ある点

なし

改善のための助言

- ・臨床実習で経験すべき医行為を定めて、臨床技能を確実に習得できるようにすべきである。
- ・主要な診療科で学修する期間を十分に確保すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・新カリキュラムでは、臨床実習の後半には主要な診療科で連続した 3 週間の実習が可能となる。臨床実習においては、1 学期終了ごとに 1 週間の評価期間を設けて、形成的な評価を行う。予防医療を臨床実習に組み込み、デジタル技術を活用した最先端の予防医療を学ぶカリキュラムが 2027 年より開始する予定である。

教育活動等の状況がわかる資料

なし

質的向上のための水準:部分的適合

特記すべき良い点 (特色) / 特色ある点

なし

改善のための示唆

- ・学生が入学後早い段階で、患者と接触する機会を設け、徐々に患者診察への参画を深めていくことが望まれる。
- ・学生の到達度に合わせた臨床技能を確実に修得できるよう体系的な教育計画を構築することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・新カリキュラムでは、大学病院の外来等の見学を通じて、患者と接触できる早期臨床体験実習Ⅱを新たに実施する。
- ・臨床実習においては、1 学期終了ごとに 1 週間の評価期間を設けて、形成的な評価を行う。

教育活動等の状況がわかる資料

なし

2.6 教育プログラムの構造、構成と教育期間

基本的水準:適合

特記すべき良い点 (特色) / 特色ある点

- ・カリキュラムマップにおいて、教育内容やその実施時期・順序が示されている。

改善のための助言

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・新カリキュラムにむけて、カリキュラムマップを更新した。

教育活動等の状況がわかる資料

【資料 2-1】 9-01-02_【26 学則】学部学則

【資料 2-5】新カリキュラムの全体像

質的向上のための水準:部分的適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

- ・「解剖・発生学Ⅱ」において臨床医学の教員が一部の講義および実習を担当している。
- ・「遺伝医療・ゲノム医療」、「基礎臨床統合医学」、「臨床病理カンファレンス」が垂直的統合科目となっている。

改善のための示唆

- ・水平的統合、垂直的統合教育をさらに進めることが望まれる。
- ・総合大学としての利点を活かし、選択科目を充実させることが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・新カリキュラムでは、3 年生で基礎医学と臨床医学の講義において、水平統合、垂直統合が行われる。
- ・2026 年度から 1 年次の習得単位数および必修単位数を 43 から 36 単位に減らし、選択科目受講を推進する。科目選択に体育科目も含めることとし、単位認定科目を増やす。第 2 外国語の医学部設置語種を独、仏のみから、中、西の 4 語種とし、さらに全学で実施している他の外国語も選択できるようにする。

教育活動等の状況がわかる資料

【資料 2-6】2026 年度第 1 学年 (111 回生) シラバス

2.7 教育プログラム管理

基本的水準:適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

なし

改善のための助言

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

特になし

教育活動等の状況がわかる資料

なし

質的向上のための水準:部分的適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

なし

改善のための示唆

- ・カリキュラム委員会に、より広い範囲の教育の関係者の代表を含むことが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

今後カリキュラム委員会の委員の見直しをおこなう。

教育活動等の状況がわかる資料
なし

2.8 臨床実践と医療制度の連携

基本的水準:適合

特記すべき良い点 (特色) / 特色ある点

- ・医学教育統轄センター、卒後臨床研修センター、専修医研修センターが連携し、卒前教育と卒後教育・臨床実践とのシームレスな接続が適切に行われている。

改善のための助言
なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画
特になし

教育活動等の状況がわかる資料
なし

質的向上のための水準:部分的適合

特記すべき良い点 (特色) / 特色ある点
なし

改善のための示唆

- ・カリキュラム委員会を通じて地域や社会の意見をさらに取り入れて、教育プログラムを改善することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・カリキュラム委員会において、年に 1 回、基礎医学、社会医学に特化したものを開催し、科学の進展や社会の変化に対応できるようにした。

教育活動等の状況がわかる資料
なし

3. 学生の評価

3.1 評価方法

基本的水準:部分的適合

特記すべき良い点 (特色) / 特色ある点

- ・医学教育統轄センターがすべての科目の定期試験問題や各診療科の臨床実習の評価を分析し、フィードバックすることで、評価の改善につなげていることは評価できる。

改善のための助言

- ・各科目のシラバスに書かれている到達目標に合致した評価を実施すべきである。
- ・低学年から技能および態度を含む評価を確実に実施すべきである。
- ・臨床実習で経験すべき医行為を定めて、客観的評価を行うべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・2026 年度に開始する臨床実習においては、1 学期終了ごとに 1 週間の評価期間を設けて、形成的な評価が行えるようになる。
- ・1 年次に行っている EEPI では模擬患者とのコミュニケーションなどからフィードバックを行っている。3 年次に行っている臨床現場を見学する EEPII では、現場から態度やコミュニケーション技能に関するフィードバックをもらっている。2027 年度から 2 年生に早期臨床体験実習Ⅱが開始され、態度・技能のフィードバックをもらう予定である。
- ・全学年においてアンプロフェッショナルな行為に対する評価を行う体制が整った。

教育活動等の状況がわかる資料

【資料 3-1】2025 年度第 1 学年 (110 回生) EEP I シラバス

【資料 3-2】2025 年度第 3 学年 (108 回生) EEP II シラバス

【資料 3-3】9-02-02_ (細則別紙) 医学生のプロフェッショナリズム評価 シラバス

_20260310

質的向上のための水準:部分的適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

- ・臨床実習において、CC-EPOC を用いて診療の基本と EPA の評価を行っている。

改善のための示唆

- ・学外臨床実習においても評価方法の信頼性と妥当性を検証することが望まれる。
- ・臨床実習現場において、Mini-CEX や 360 度評価などの評価を充実させることが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・2026 年度に開始する臨床実習においては、1 学期終了ごとに 1 週間の評価期間を設けて、形成的な評価が行えるようになる。
- ・学外臨床実習の評価方法の信頼性と妥当性の検証は課題である。

教育活動等の状況がわかる資料

なし

3.2 評価と学修との関連

基本的水準:部分的適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

- ・独自の K-LMS 上でのオンライン試験を実施し、形成的評価にも役立てていることは評価できる。

改善のための助言

- ・目標とする卒業時コンピテンスに整合した評価を実施し、学生が卒業時にすべてのコンピテンスを修得していることを保証すべきである。
- ・到達すべき卒業時コンピテンス達成レベルは各科目のシラバスなどに明示すべきである。
- ・低学年においても形成的評価と総括的評価の配分に配慮すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・2026 年度に開始する臨床実習においては、1 学期終了ごとに 1 週間の評価期間を設けて、形成的な評価が行えるようになる。
- ・1 年次に行っている EEPI では模擬患者とのコミュニケーションなどからフィードバックを行っている。3 年次に行っている臨床現場への見学をする EEPII では、現場からの態度やコミュニケーション技能に関するフィードバックをもらっている。2027 年度から 2 年生に早期臨床体験実習Ⅱが開始され、態度・技能のフィードバックをもらう予定である。
- ・早期臨床体験実習では、総括評価は授業での学びや態度といったプロセス、グループディスカッションの成果やレポートなどのプロダクトを総合的に判断している。全学年においてアンプロフェッショナルな行為に対する評価体制が整った。

教育活動等の状況がわかる資料

【資料 3-3】9-02-02_ (細則別紙) 医学生のプロフェッショナルリズム評価 シラバス
_20260310

質的向上のための水準:部分的適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

なし

改善のための示唆

- ・試験の回数の適正化を推進することが望まれる。
- ・試験以外の評価結果についても時機を得た、具体的、建設的、かつ公正なフィードバックを行うことが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・新カリキュラムでは科目数と試験回数を減らした。
- ・2026 年度に開始する臨床実習においては、1 学期終了ごとに 1 週間の評価期間を設けて、形成的な評価を行う。
- ・試験以外の評価結果のフィードバックは課題である。

教育活動等の状況がわかる資料

なし

4. 学生

4.1 入学方針と入学選抜

基本的水準:適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

- ・入学方針の策定には広い範囲の教育の関係者が参加している。

改善のための助言

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

特になし

教育活動等の状況がわかる資料

なし

質的向上のための水準:部分的適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

- ・2021 年にアドミッションポリシーの見直しを行った。

改善のための示唆

- ・入学方針に選抜と卒業時コンピテンスの関連を具体的に述べることが望まれる。
- ・入学決定に対する疑義申し立て制度を採用することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・アドミッションポリシーの見直しをおこなった。
- ・疑義申し立て制度は大学全体で検討が必要なため、未実施である。

教育活動等の状況がわかる資料

【資料 1-3】第 1 回ミッション・アウトカム検討委員会_20250424

【資料 1-4】第 2 回ミッション・アウトカム検討委員会_20250521

【資料 1-5】医学部の 3 つの方針および教員組織の編制方針 改定案 (20250728 教授会)

4.2 学生の受け入れ

基本的水準:適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

なし

改善のための助言

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

特になし

教育活動等の状況がわかる資料

なし

質的向上のための水準:適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

なし

改善のための示唆

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

特になし

教育活動等の状況がわかる資料

なし

4.3 学生のカウンセリングと支援

基本的水準:適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

- ・信濃町キャンパスに1名の学習指導主任と精神・神経科医師を含む5名の学習指導副主任が配置されている。
- ・第2学年から第5学年には学生5名につき1名の教員を担任として配置している。
- ・種々の医学部独自の給付型奨学金を用意していることは評価できる。

改善のための助言

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

特になし

教育活動等の状況がわかる資料

なし

質的向上のための水準:適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

- ・担任制度を利用して、学生が年度はじめにコンピテンスを達成するための目標を立て、年度末にその達成度を振り返るシステムを運用していることは評価できる。

改善のための示唆

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

特になし

教育活動等の状況がわかる資料

なし

4.4 学生の参加

基本的水準:部分的適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

なし

改善のための助言

- ・使命の策定・改定に関わる委員会を明確にし、その委員会へ学生を参加させるべきである。
- ・教学に関する各種委員会には学生の意見がより反映されるよう、幅広い範囲の学生が参加すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・2025年度におこなったミッション・アウトカム検討委員会には学生も委員として参加した。

教育活動等の状況がわかる資料

なし

質的向上のための水準:適合

特記すべき良い点 (特色) / 特色ある点

- ・医学生が教員のサポートを得ながら、感染予防マニュアル「医療系学生のための感染予防指針」を執筆し、全国の医学部・看護学部・医療系学部に配布している

改善のための示唆

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

特になし

教育活動等の状況がわかる資料

なし

5. 教員

5.1 募集と選抜方針

基本的水準:適合

特記すべき良い点 (特色) / 特色ある点

- ・「慶應義塾大学医学部が求める教員像および教員組織の編成方針」を作成し、教員の責任や業績の判定基準を示している。

改善のための助言

- ・教員の募集と選抜、ならびに教員の活動において臨床的な業績をより確実に把握すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・「慶應義塾大学医学部が求める教員像および教員組織の編成方針」について改訂作業をおこなった。
- ・教員の臨床的な業績の確実な把握は課題である。

教育活動等の状況がわかる資料

【資料 1-5】医学部の 3 つの方針および教員組織の編制方針 改定案 (20250728 教授会)

質的向上のための水準:適合

特記すべき良い点 (特色) / 特色ある点

- ・社会情勢や学問領域の変化に応じて、新たな講座やセンターを設置し、教員を柔軟に配置している。

改善のための助言

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・サステナビリティセンター、国際先端医療研究開発センターを設置した。

教育活動等の状況がわかる資料

なし

5.2 教員の活動と能力開発

基本的水準:適合

特記すべき良い点 (特色) / 特色ある点

- ・「K-RIS」により随時更新された研究業績や教育業績が認識されている。
- ・若手教員向けの「医学教育実践者コース」を開始し、教育マインドをもつ教員の育成に寄与していることは評価できる。

改善のための助言

- ・教員の活動において臨床的な業績をより確実に把握すべきである。
- ・教員がカリキュラム全体をより十分に理解した上で教育に参加すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・教員の活動における臨床的な業績の確実な把握は課題である。
- ・教員がカリキュラム全体をよりよく理解するために、FD 入門などを実施している。

教育活動等の状況がわかる資料

なし

質的向上のための水準:適合

特記すべき良い点 (特色) / 特色ある点

- ・カリキュラムの実施に十分な教員が確保されている。

改善のための示唆

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

特になし

教育活動等の状況がわかる資料

なし

6. 教育資源

6.1 施設・設備

基本的水準:適合

特記すべき良い点 (特色) / 特色ある点

- ・信濃町メディアセンターは、充実した蔵書ならびに電子リソースを有していることは評価できる。

改善のための助言

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画
特になし

教育活動等の状況がわかる資料
なし

質的向上のための水準:適合

特記すべき良い点（特色）/特色ある点
なし

改善のための示唆
なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画
特になし

教育活動等の状況がわかる資料
なし

6.2 臨床実習の資源

基本的水準:部分的適合

特記すべき良い点（特色）/特色ある点

- ・多くの学外の関連施設の協力の下で積極的に学外の臨床実習を行っている。

改善のための助言

- ・学生が経験した患者数と疾患分類を把握し、学生が適切な経験を積めるように臨床実習施設を確保すべきである。
- ・臨床指導能力を十分に備えた学外の臨床実習指導者を確保すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・学生が経験した患者数は CC-EPOC を使って把握している。
- ・疾患分類を把握し、学生が適切な経験を積めるように臨床実習施設を確保することは課題である。
- ・臨床指導能力を十分に備えた学外の臨床実習指導者を確保することは課題である。

教育活動等の状況がわかる資料
なし

質的向上のための水準:適合

特記すべき良い点（特色）/特色ある点
なし

改善のための示唆
なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

特になし

教育活動等の状況がわかる資料

なし

6.3 情報通信技術

基本的水準:適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

- ・入学時に全員にタブレット端末を給付し、臨床実習の学生には1人ずつスマートフォンを貸与している。

改善のための助言

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

特になし

教育活動等の状況がわかる資料

なし

質的向上のための水準:部分的適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

- ・自己学習や情報の入手のための ICT の活用が充実している。

改善のための示唆

- ・診療参加型臨床実習における EBM 実践ツールの利活用や学生の電子カルテ記載と記載内容の指導を充実させることが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・新カリキュラムでは、臨床実習では1学期終了ごとに1週間の評価期間を設けて、カルテ記載などについて、形成的な評価を行う予定である。
- ・臨床実習での EBM 実践ツールの利活用を促進するために、学期終了毎に1週間の期間を使って、EBM の実習を導入する予定である。

教育活動等の状況がわかる資料

なし

6.4 医学研究と学識

基本的水準:適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

- ・第3学年の「自主学習」や MD-PhD コースを設置し、学生に医学研究に従事する機会を与え、学生が積極的に研究活動に参加していることは評価できる。

改善のための助言

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

特になし

教育活動等の状況がわかる資料

なし

質的向上のための水準:適合

特記すべき良い点（特色）/特色ある点

なし

改善のための示唆

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

特になし

教育活動等の状況がわかる資料

なし

6.5 教育専門家

基本的水準:適合

特記すべき良い点（特色）/特色ある点

- ・医学教育統轄センターに多くの医学教育担当教員を擁し、種々の教育活動に活用していることは評価できる。
- ・医学教育統轄センターが各教室の教員に対して FD コースを開催し、医学教育の牽引者養成を目指した指導を行っている。

改善のための助言

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

特になし

教育活動等の状況がわかる資料

なし

質的向上のための水準:適合

特記すべき良い点（特色）/特色ある点

- ・教職員の教育能力向上において学内外の教育専門家が実際に活用されている。

改善のための示唆

- ・FD への教員の参加率の上昇が望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 2025 年度の FD 参加率は 40%程度であった。

教育活動等の状況がわかる資料

【資料 6-1】 IR 報告 No.61 2025 年度 Faculty Development Seminar 受講率

6.6 教育の交流

基本的水準:適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

- ・ 経済的支援のもと、第 5 学年の約半数の学生を海外臨床実習に派遣し、多くの海外の学生の臨床実習で受け入れていることは高く評価できる。

改善のための助言

- ・ 国内の他教育機関との交流をさらに進めるべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 臨床実習において、地域基盤型臨床実習や選択のプライマリ・ケア実習では、全国の医療機関に実習を依頼している。
- ・ 国内の他の教育機関との交流をさらに進めることは課題である。

教育活動等の状況がわかる資料

【資料 6-2】 地域基盤型臨床実習実習施設一覧 2025 年

【資料 6-3】 選択臨床実習ガイドブック・プライマリ・ケア実習

質的向上のための水準:適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

- ・ 経済的な支援を整備し、学生の海外実習を奨励している。

改善のための示唆

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

特になし

教育活動等の状況がわかる資料

なし

7. 教育プログラム評価

7.1 教育プログラムのモニタと評価

基本的水準:部分的適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

- ・ 教育プログラムのモニタと評価のために、医学教育統轄センターIR 部門ならびにカリキュラム評価委員会を設置している。

改善のための助言

- ・カリキュラムの立案と実施を担当する組織とカリキュラム評価委員会の独立性を担保し、カリキュラム評価委員会が中心となって教育プログラムの評価を行い、その評価結果をより確実にカリキュラムに反映すべきである。
- ・医学教育統轄センターから IR 部門を独立させ、系統的なデータ収集・分析を行い、カリキュラム評価委員会での教育プログラム評価にさらに活用すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・カリキュラム評価委員を刷新し、多様なメンバーからなるカリキュラム評価委員を招集した。
- ・IR 部門のデータを踏まえた教育改善に取り組む予定である。

教育活動等の状況がわかる資料

【資料 7-1】カリキュラム評価委員会委員 (2025 年 10 月～2027 年 9 月)

質的向上のための水準:部分的適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

なし

改善のための示唆

- ・カリキュラム評価委員会が中心となって、包括的かつ定期的なカリキュラム評価を行うことが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

指摘のことは課題である。

教育活動等の状況がわかる資料

なし

7.2 教員と学生からのフィードバック

基本的水準:部分的適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

なし

改善のための助言

- ・授業評価やコンピテンス達成度に対する自己評価だけでなく、教育プログラム全体に対する教員と学生からのフィードバックを系統的に求め、分析し対応すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・カリキュラム委員会では、学生のカリキュラム委員から定期的に各学年の学生の意見を集め、カリキュラムの改善に努めている。
- ・2025 年度末に教員に対してカリキュラムに対するアンケートを実施した。

教育活動等の状況がわかる資料

【資料 7-2】20260114 カリキュラム委員会議事録.pdf

【資料 7-3】20260513 カリキュラム委員会議事.pdf

質的向上のための水準:部分的適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

なし

改善のための示唆

- ・教員と学生からのフィードバックの結果を利用して、教育プログラムを確実に開発することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・2025 年度のカリキュラム委員会で学生のカリキュラム委員から提案された内容については速やかに対応してきた。

教育活動等の状況がわかる資料

【資料 7-2】 20260114 カリキュラム委員会議事録.pdf

【資料 7-3】 20260513 カリキュラム委員会議事.pdf

7.3 学生と卒業生の実績

基本的水準:部分的適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

- ・卒業時に学生の学修成果達成度についてアンケート調査を行っている。
- ・臨床研修を終えた3年目の卒業生に学修成果の達成度についてアンケート調査を行っている。

改善のための助言

- ・カリキュラムや資源の提供に関連して、学生と卒業生の実績をより確実に分析すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・学生と卒業生の実績の分析は課題である。

教育活動等の状況がわかる資料

なし

質的向上のための水準:適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

- ・入試形態ごとの入学選抜時の成績と入学後の成績との相関を解析し、入試検討委員会などに報告され選抜方針の改定に役立てている。

改善のための示唆

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

特になし

教育活動等の状況がわかる資料

なし

7.4 教育の関係者の関与

基本的水準:適合

特記すべき良い点 (特色) / 特色ある点

・カリキュラム評価委員会に、学生代表を含む教育に関わる主要な構成者が委員として加わっている。

改善のための助言

・教育に関わる主要な構成者をカリキュラム評価委員会の委員とすることを明確に規定すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

カリキュラム評価委員を刷新し、多様なメンバーからなるカリキュラム評価委員を招集した。

教育活動等の状況がわかる資料

【資料 7-1】カリキュラム評価委員会委員 (2025 年 10 月～2027 年 9 月)

質的向上のための水準:部分的適合

特記すべき良い点 (特色) / 特色ある点

なし

改善のための示唆

・卒業生の実績やカリキュラムに対するフィードバックを広い範囲の教育の関係者に求めることが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

・カリキュラム評価委員を刷新し、多様なメンバーからなるカリキュラム評価委員を招集した。

教育活動等の状況がわかる資料

【資料 7-1】カリキュラム評価委員会委員 (2025 年 10 月～2027 年 9 月)

8. 統轄および管理運営

8.1 統轄

基本的水準:適合

特記すべき良い点 (特色) / 特色ある点

なし

改善のための助言

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

特になし

教育活動等の状況がわかる資料

なし

質的向上のための水準:適合

特記すべき良い点 (特色) / 特色ある点

- ・教育に関する諸事項を所掌する医学教育統轄センターを整備している。加えて、教学関係の委員会組織を設置している。
- ・教授会の議事録を広く教員に公開している。

改善のための示唆

- ・医学教育統轄センターと教学に関わる各種委員会との相互の関係を明確化し、多くの教職員、学生らが医学部の教育に対し主体的に関わることが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・医学教育統轄センターと教学に関わる各種委員会との相互の関係を明確化することは課題である。

教育活動等の状況がわかる資料

なし

8.2 教学における執行部

基本的水準:適合

特記すべき良い点 (特色) / 特色ある点

- ・教学における執行部、ならびに医学教育統轄センターが、学務委員会、カリキュラム委員会と連携し、教育のリーダーシップの責務を担っている。

改善のための助言

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

特になし

教育活動等の状況がわかる資料

なし

質的向上のための水準:部分的適合

特記すべき良い点 (特色) / 特色ある点

なし

改善のための示唆

- ・教学における執行部、すなわち医学部執行部ならびに医学教育統轄センターの評価を、医学部の使命と学修成果に照合して、定期的に行うべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・医学部執行部ならびに医学教育統轄センターの評価を今後検討する。

教育活動等の状況がわかる資料

なし

8.3 教育予算と資源配分

基本的水準:適合

特記すべき良い点 (特色) / 特色ある点

- ・教育に必要な予算は医学部の執行部で適切に管理・分配されている。

改善のための助言

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

特になし

教育活動等の状況がわかる資料

なし

質的向上のための水準:適合

特記すべき良い点 (特色) / 特色ある点

- ・教員の流動的再配置が機能的に決定され、予算が配分されている。

改善のための示唆

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

特になし

教育活動等の状況がわかる資料

なし

8.4 事務と運営

基本的水準:適合

特記すべき良い点 (特色) / 特色ある点

- ・事務職員も教員の FD 動画を視聴し、医学教育の動向を学んでいる。

改善のための助言

- ・事務職員及び専門職員のための研修 (SD) をより充実すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・事務職員及び専門職員のための研修 (SD) をより充実することが課題である

教育活動等の状況がわかる資料

なし

質的向上のための水準:適合

特記すべき良い点（特色）/特色ある点

なし

改善のための示唆

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

特になし

教育活動等の状況がわかる資料

なし

8.5 保健医療部門との交流

基本的水準:適合

特記すべき良い点（特色）/特色ある点

・東京都内のみならず、神奈川県、埼玉県、千葉県、群馬県、栃木県の地域中核病院と関連病院会を形成して、教育プログラムの構築をおこなっている。

改善のための助言

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

特になし

教育活動等の状況がわかる資料

なし

質的向上のための水準:適合

特記すべき良い点（特色）/特色ある点

なし

改善のための示唆

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

特になし

教育活動等の状況がわかる資料

なし

9. 継続的改良

基本的水準:適合

特記すべき良い点 (特色) /特色ある点

・教育課程、構造、内容、学修成果/コンピテンス、学生評価ならびに学修環境の評価は、IR 部門の情報に基づき、カリキュラム評価委員会が行っている。カリキュラム評価委員会の評価を受けて、医学教育統轄センターが改善のためのアクションプランの立案を行う体制である。

改善のための助言

なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

特になし

教育活動等の状況がわかる資料

なし

質的向上のための水準:評価を実施せず

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

特になし

教育活動等の状況がわかる資料

なし